

## 経済指標ウォッチャー

# 8月米小売売上高 需要の底堅さが示される

## 感染拡大や足元の物価高が先行きの見通しへの懸念材料

### 小売売上高とは？

百貨店やスーパーなどの小売・サービス業の月間売上高について、サンプル調査をベースにした景気関連の経済指標（耐久財と非耐久財に大別）。消費者が商品購入にどれだけお金を使ったかが分かる。個人消費はGDP（国内総生産）の中でも大きな割合を占めることが多いため、個人消費のトレンドや景気の良し悪しを判断するためにも重要視される。

### 小売売上高は再び前月比でプラスに

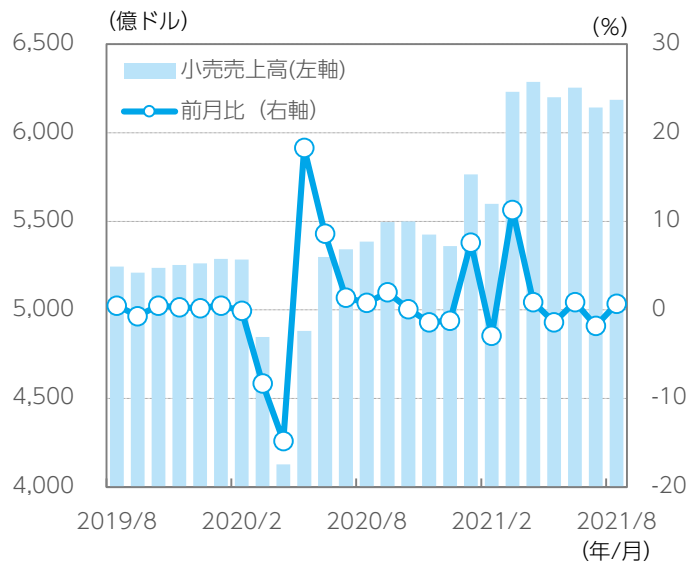
米商務省が17日発表した2021年8月の全米の小売売上高（季節調整済み）は前月比0.7%増の6,187億ドルとなりました。市場予想の同0.7%減を大幅に上回り、引き続き消費への需要が高いことが示される結果となりました（図表1）。政府から子どものいる家庭へ給付金が支給されたことなどが消費の底上げにつながったとみられます。内訳を見ると、9月からの新学期に備えた物品の購入などもありオンライン販売店が同5.3%増の884億ドルとなりました。デルタ株まん延による感染再拡大を受けて外出が抑制されたことで、オンライン消費が堅調な結果となったものと思われます。一方で、飲食店や娯楽等のサービス関連の消費は前月と比較し低調な結果となりました。

### 感染拡大や物価高が続くかに注目

民間の調査機関であるコンファレンスボードが8月31日に発表した8月の米消費者信頼感指数（1985年=100）は、113.8と前月の125.1から大きく低下しました。特に6カ月先の消費者信頼感を示す期待指数が91.4と前月の103.8から大きく低下しています（図表2）。デルタ株による感染再拡大や足元の物価高などが消費者の先行きの見通しに影を落としているものと思われます。

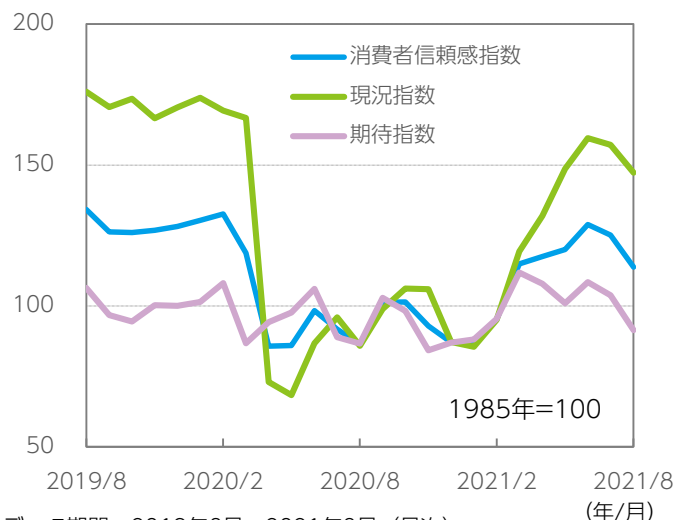
経済活動の正常化が順調に進んでいることから、消費が大きく落ち込む可能性は低いと想定されるものの、デルタ株による感染拡大や物価の動向次第では、消費者の消費行動が低迷し、小売売上高が軟調に推移する可能性もありそうです。

図表1：小売売上高の推移



データ期間：2019年8月～2021年8月（月次）  
 出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

図表2：消費者信頼感指数の推移



データ期間：2019年8月～2021年8月（月次）  
 出所）CEICのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506  
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）  
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>